

三重大学
学生総合支援センター
Student Support Center

2014年度
報告書



目次

I 学生総合支援センター

- ・組織図.....01
- ・学生総合支援センター会議 委員名簿.....02
- ・学生委員会 委員名簿.....02

II 学生生活支援室

- ・活動報告.....03
- ・奨学生数.....04
- ・外国人留学生数.....05
- ・入学料・授業料免除者数.....07
- ・学生寄宿舍入寮許可状況.....08
- ・学生教育研究災害障害保険・学生教育研究賠償責任保険加入者数.....10
- ・クラブ・サークル一覧(体育系・文化系).....11
- ・第63回東海地区国立大学体育大会成績結果.....13

III 障がい学生支援室

- ・活動報告.....14

IV 学生なんでも相談室

- ・活動報告.....17
- ・学生なんでも相談室ニュースVol.3.....20

V キャリア支援センター

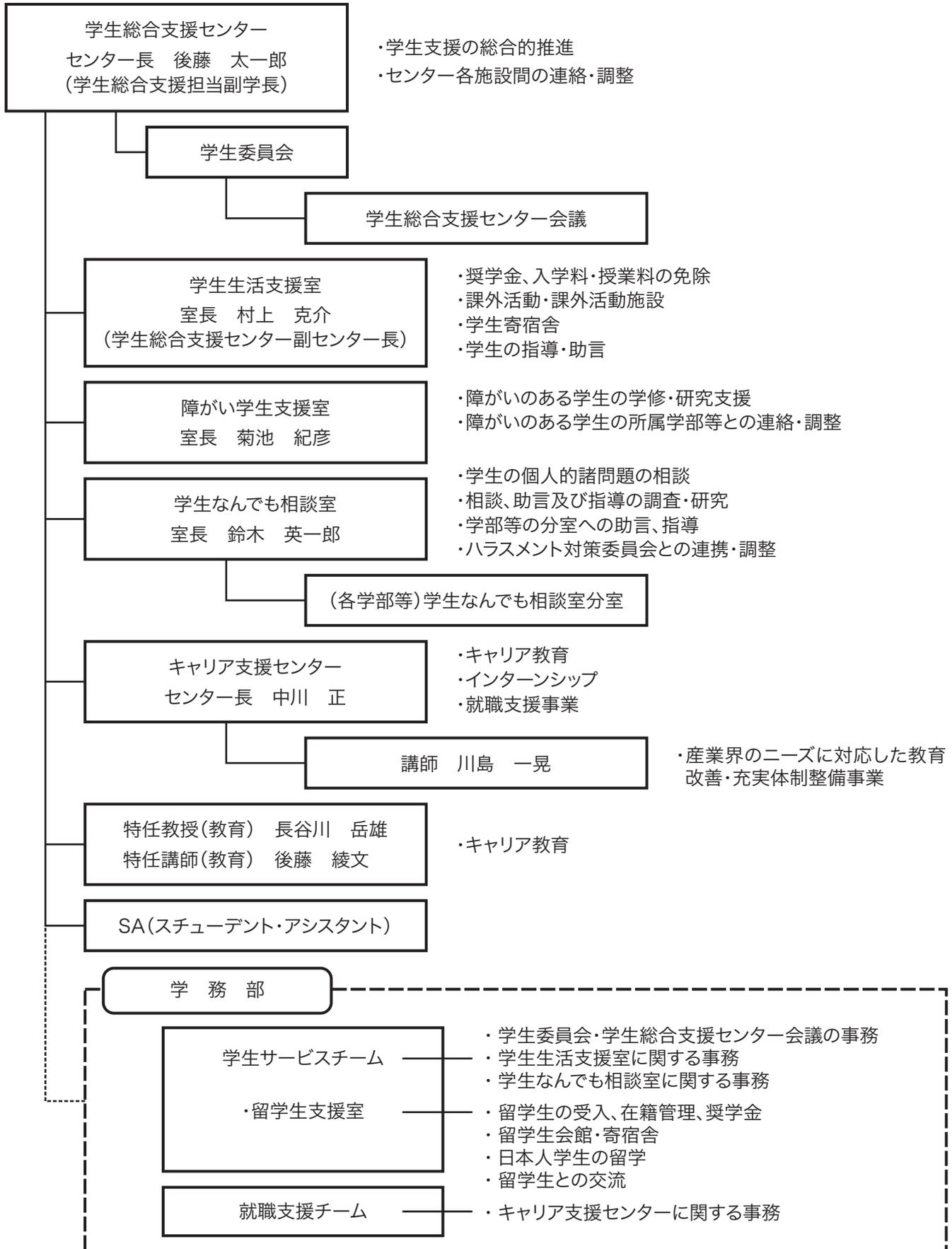
- ・活動報告.....24
- ・就職状況.....30

VI SA(スチューデント・アシスタント)

- ・取り組みをふりかえって.....32
- ・キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド.....33

I 学生総合支援センター

平成26年度 学生総合支援センター 組織図



平成26年度 学生総合支援センター会議 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	後藤 太一郎	議長 学生総合支援担当 副学長
	学生生活支援室長	村上 克介	副センター長
	障がい学生支援室長	菊池 紀彦	
	学生なんでも相談室長	鈴木 英一郎	
	キャリア支援センター長	中川 正	
	学務部長	中村 賢一	
	講師	川島 一晃	
陪席	学生サービス課長	清水 久己	
	学生サービスチーム副課長	伊藤 謙一郎	
	留学生支援室長	奥山 真由里	
	就職支援課長	東川 正朗	
	就職支援チーム副課長	河村 俊男	

平成26年度 学生委員会 委員名簿

		氏 名	備 考
委員	学生総合支援センター長	後藤 太一郎	委員長 学生総合支援担当副学長
	人文学部	本廣 陽子	
	教育学部	秋元 ひろと	
	医学部	成田 有吾	
	工学研究科	弓場井 一裕	
	生物資源学研究科	取出 伸夫	
	保健管理センター	竹井 謙之	
	国際交流センター	松岡 知津子	
	学生生活支援室	村上 克介	副委員長
	障がい学生支援室	菊池 紀彦	
	学生なんでも相談室	鈴木 英一郎	
	キャリア支援センター	中川 正	
	学務部長	中村 賢一	
陪席	学生サービス課長	清水 久己	
	学生サービスチーム副課長	伊藤 謙一郎	
	留学生支援室長	奥山 真由里	
	就職支援課長	東川 正朗	
	就職支援チーム副課長	河村 俊男	

平成26年度 活動報告

1 学生支援関係

新入生を対象としたオリエンテーションを開催し、附属図書館や総合情報処理センター、学生なんでも相談室の利用方法、また、地震・津波等大規模災害時の対応方法、津警察生活安全課による交通マナーの遵守、未成年の飲酒防止、および違法薬物の乱用防止など学生生活を送るうえでの様々な危険を回避するための対応方法についてなど、様々な講話を行った。

2 学生を支援・担当する教職員を対象とした研修会

日本学生支援機構が主催する、学生が抱える様々な悩みや相談に対応する教職員を対象とした学生支援研修会に、学生と直接関わる事務職員などを派遣することを計画し、実施した。

3 クラブ・サークル活動関係

毎年繰り返される、三重大生のマナーを無視した行動、具体的には、近隣の商業施設への無断駐車や、歩行者・自転車の交通マナーの悪さなど、こうした問題についてこれまで同様注意喚起および直接の対面指導という形で指導を実施していたが、今年度は学生ボランティアやクラブ・サークル団体により、学外では国道23号線江戸橋交差点付近での通学学生への交通指導、また、学内では特に乱雑な駐輪により混雑した状況にあった共通教育校舎周辺区域での駐輪指導を集中的に行うなど、学生・教職員の協働によるマナー向上の取組により一定の効果を上げることができた。

4 課外活動施設の改善及び備品等購入助成

* 熱中症対策	第1体育館製氷機設置
* トイレ全面改修	プール更衣室女子トイレ
* 第1体育館	水銀灯取替、第1体育館・屋内トレーニング場カーテン修理 剣道場・柔道場天井照明取替(LED照明化)
* 屋内トレーニング場	屋根塗り替え
* 合宿所	床下・シャワー室改修
* 弓道場	改修
* 課外活動倉庫	屋根修繕
* 陸上競技場	排水管修繕、審判台
* プール	排水バルブ取替、プール横排水管修繕
* テニスコート場	整地、ネットフェンス修理(中央・南側)、ネット・照明灯取替
* 野球場	補修用砂・土補充、バックスクリーン時計取替
* ハンドボール場	整地
* サッカー・ラグビー場	整地、ゴールポスト修理
* 管弦楽団	楽器購入
* 吹奏楽団	楽器購入
* 消耗品購入	硬式野球部、準硬式野球部、アメフト部、バレーボール部、バスケットボール部、 硬式テニス部、バドミントン部、馬術部、応援団 他

平成26年度 奨学生数

平成27年3月1日現在

学部等		区分	在学生数	日本学生支援機構			地方公共団体 民間育英団体	合計	在学生に 対する 百分率
				第一種 (無利子)	第二種 (有利子)	計			
学部	人文学部		1,263	175	225	400	8	408	32.3%
	教育学部		865	124	169	293	1	294	34.0%
	医学部		1,094	145	168	313	420	733	67.0%
	工学部		1,839	257	292	549	8	557	30.3%
	生物資源学部		1,087	165	150	315	13	328	30.2%
大学院	人文社会科学研究科		37	8	0	8	0	8	21.6%
	教育学研究科		89	21	1	22	0	22	24.7%
	医学系研究科	修士	57	7	2	9	0	9	15.8%
		博士	188	8	0	8	0	8	4.3%
	工学研究科	前期	464	165	24	189	0	189	40.7%
		後期	50	5	0	5	0	5	10.0%
	生物資源学研究科	前期	184	55	6	61	3	64	34.8%
		後期	44	10	0	10	1	11	25.0%
	地域イノベーション学研究科	前期	20	6	1	7	0	7	35.0%
		後期	17	2	0	2	0	2	11.8%
計			7,298	1,153	1,038	2,191	454	2,645	36.2%

平成26年度 学部別外国人留学生数 一覧表

11月1日現在

		人文学部	教育学部	医学部	工学部	生物資源学部	地域イノベーション学研究科	国際交流センター	計
学部	正規	12(6)	10(9)		27(3)	1(1)			50(19)
	非正規	46(28)	31(28)		12(5)	8(4)		33(27)	130(92)
計		58(34)	41(37)	0(0)	39(8)	9(5)	0(0)	33(27)	180(111)

修士	正規	13(9)	20(20)	3(3)	10(5)	21(9)	3(1)		70(47)
	非正規	12(7)			3(0)	5(1)			20(8)
計		25(16)	20(20)	3(3)	13(5)	26(10)	3(1)	0(0)	90(55)

博士	正規			15(6)	13(2)	15(7)	2(1)		45(16)
	非正規			1(1)					1(1)
計		0(0)	0(0)	16(7)	13(2)	15(7)	2(1)	0(0)	46(17)

合計		83(50)	61(57)	19(10)	65(15)	50(22)	5(2)	33(27)	316(183)
----	--	--------	--------	--------	--------	--------	------	--------	----------

()内は、女子を内数で示す。

平成26年度 国籍別外国人留学生数 一覧表

31ヶ国・地域

316(183)

11月1日現在

国・地域		【学部】		【大学院】		【国際交流センター】			計	
		正規生	非正規生	正規生	非正規生	日本語・ 日本文化 研修生	日本語 研修生	特別聴 講生		
アジア	1	中国	33(13)	52(38)	68(45)	10(6)	1(1)		13(11)	177(114)
	2	タイ		8(6)	8(2)	1(0)	2(2)	1(1)	2(2)	22(13)
	3	インドネシア	1(1)	4(2)	11(7)	1(1)		2(0)		19(11)
	4	韓国	6(2)	7(5)	3(0)	1(0)		1(1)		18(8)
	5	ベトナム	5(1)	5(5)	1(1)				4(4)	15(11)
	6	バングラデシュ			7(2)	1(0)		1(0)		9(2)
	7	アフガニスタン		2(0)	6(0)					8(0)
	8	マレーシア	5(2)							5(2)
	9	インド			1(1)		1(1)			2(2)
	10	台湾				1(1)				1(1)
	11	ブルネイ			1(1)					1(1)
	12	ネパール			1(1)					1(1)
	13	ミャンマー			1(0)					1(0)
中東	14	イラク			1(0)					1(0)
	15	トルコ				1(0)				1(0)
アフリカ	16	カメルーン				1(0)				1(0)
	17	マダガスカル		1(1)						1(1)
	18	ガーナ			1(1)					1(1)
	19	ウガンダ						1(0)		1(0)
	20	マリ共和国			1(1)					1(1)
北米	21	メキシコ			1(1)			1(1)		2(2)
	22	アメリカ合衆国							1(1)	1(1)
南米	23	ブラジル		1(1)						1(1)
ヨーロッパ	24	ドイツ		12(5)						12(5)
	25	フランス		1(0)	2(0)	3(1)				6(1)
	26	ロシア		1(1)			1(1)			2(2)
	27	スウェーデン		2(0)						2(0)
	28	ハンガリー						1(1)		1(1)
	29	セルビア			1(0)					1(0)
	30	スペイン				1(0)				1(0)
31	イギリス		1(1)						1(1)	
合計			50(19)	97(65)	115(63)	21(9)	5(5)	8(4)	20(18)	316(183)
			147(84)		136(72)		33(27)			

()内は、女子を内数で示す。

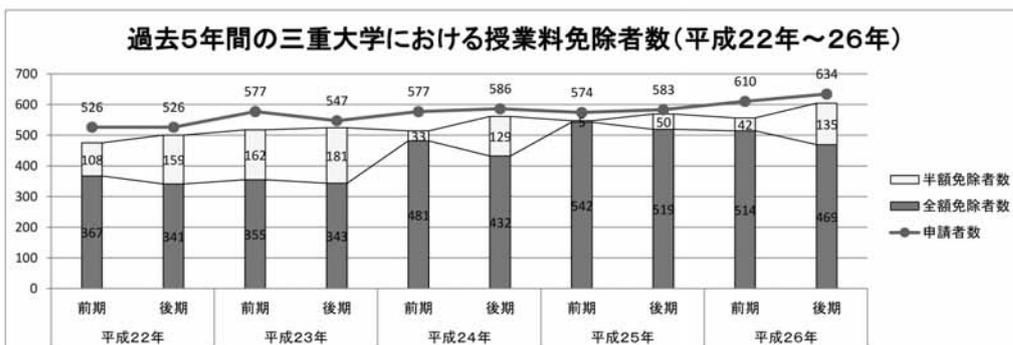
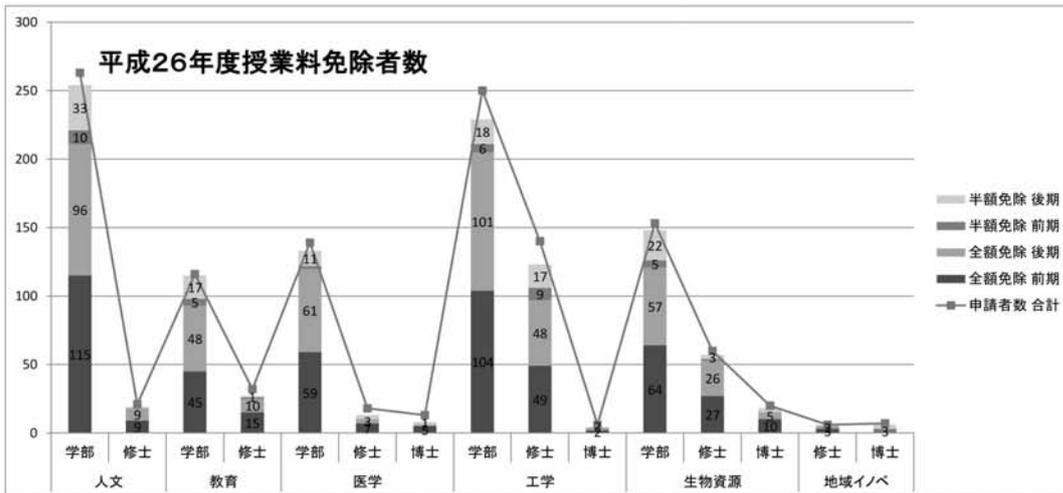
正規生 165(82)

非正規生 151(101)

平成26年度 入学料・授業料免除者数(学部・研究科別)

入学料免除		免除申請者数	全額免除	半額免除
人文	学部	20	0	11
	修士	6	0	0
教育	学部	10	0	5
	修士	7	0	2
医学	学部	7	0	4
	修士	2	0	0
	博士	1	0	0
工学	学部	12	0	10
	博士前期	25	0	9
	博士後期	0	0	0
生物資源	学部	10	0	5
	博士前期	12	0	3
	博士後期	1	0	0
地域イノベ	博士前期	2	0	0
	博士後期	1	0	0
合 計		116	0	49

授業料免除		申請者数			全額免除		半額免除		免除者計	
学部・研究科名		前期	後期	合計	前期	後期	前期	後期	前期	後期
人文	学部	130	133	263	115	96	10	33	125	129
	修士	11	10	21	9	9	0	1	9	10
教育	学部	51	65	116	45	48	5	17	50	65
	修士	19	13	32	15	10	1	1	16	11
医学	学部	66	73	139	59	61	2	11	61	72
	修士	9	9	18	7	3	0	3	7	6
	博士	9	4	13	5	1	0	2	5	3
工学	学部	125	125	250	104	101	6	18	110	119
	博士前期	66	74	140	49	48	9	17	58	65
	博士後期	4	2	6	2	2	0	0	2	2
生物資源	学部	72	81	153	64	57	5	22	69	79
	博士前期	30	30	60	27	26	1	3	28	29
	博士後期	11	9	20	10	5	0	3	10	8
地域イノベ	博士前期	3	3	6	3	2	0	1	3	3
	博士後期	4	3	7	0	0	3	3	3	3
合 計		610	634	1,244	514	469	42	135	556	604



平成26年度 学生寄宿舍 入寮許可状況報告

男子学生寄宿舍



定員:109名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成26年度	43	53	43	

女子学生寄宿舍



定員:60名	募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成26年度	31	39	31	

国際女子学生寄宿舍



定員:日本人学生50名 留学生25名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成26年度	日本人学生	26	26	26	
	留学生	15	15	15	

留学生会館



定員: 35室		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成26年度	単身室(30人)	3	13	3	チューターのみ募集
	夫婦室(5室)	3	2	2	

留学生寄宿舍



A棟 定員: 49名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成26年度	単身室(17人)	1	1	1	チューターのみ募集
	4人部屋(32人)	0	0	0	天津師範大D.D

B棟 定員: 35名		募集人数	申請者数	許可者数	備考
平成26年度	単身室	5	9	5	うち、チューターを1名募集

平成26年度 学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険 加入者数

●学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険

学部・研究科		入学者数	加入者数	加入率
人文学部		307	186	61%
教育学部		211	186	88%
医学部		210	198	94%
工学部		454	314	69%
生物資源学部		261	191	73%
人文社会科学研究科		14	6	43%
教育学研究科		35	16	46%
医学系研究科	(博士課程)	41	20	49%
	(修士課程)	19	17	89%
工学研究科	(博士後期課程)	5	2	40%
	(博士前期課程)	226	134	59%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	6	3	50%
	(博士前期課程)	83	64	77%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	6	4	67%
	(博士前期課程)	8	5	63%
		1,886	1,346	71%

●学研災付帯学生生活総合保険

学部・研究科		入学者数	加入者数	加入率
人文学部		307	11	4%
教育学部		211	13	6%
医学部		210	32	15%
工学部		454	23	5%
生物資源学部		261	11	4%
人文社会科学研究科		14	2	14%
教育学研究科		35	0	0%
医学系研究科	(博士課程)	41	0	0%
	(修士課程)	19	0	0%
工学研究科	(博士後期課程)	5	0	0%
	(博士前期課程)	226	10	4%
生物資源学研究科	(博士後期課程)	6	0	0%
	(博士前期課程)	83	4	5%
地域イノベーション学研究科	(博士後期課程)	6	0	0%
	(博士前期課程)	5	0	0%
		1,883	106	6%

平成26年度 クラブ・サークル一覧

●体育系・全学

平成26年8月1日現在

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	陸上競技部	50	19	69	30	トライアスロン部	10	9	19
2	水泳部	24	12	36	31	応援団	36	32	68
3	硬式野球部	30	3	33	32	BEANS(テニス)	21	8	29
4	準硬式野球部	27	2	29	33	BLUE MARINE(スキダイビング)	24	14	38
5	サッカー部	30	3	33	34	バスケットボール同好会	25	12	37
6	ラグビー部	25	5	30	35	パルデラマ(フットサル)	41	12	53
7	アメリカンフットボール部	37	13	50	36	ダイビングサークル	33	14	47
8	馬術部	15	15	30	37	天狗(よさこいサークル)	17	9	26
9	硬式テニス部	23	7	30	38	ボウリング部	7	1	8
10	ソフトテニス部	31	12	43	39	まいのり(テニス・バトミントン)	9	10	19
11	ハンドボール部	24	7	31	40	ラインブレイク(釣り・アウトドア)	15	11	26
12	バレーボール部	14	9	23	41	狩るマッチョ(サッカー)	44	12	56
13	バスケットボール部	15	11	26	42	極津(よさこい)	0	50	50
14	バトミントン部	16	6	22	43	ひらめ(バトミントンサークル)	23	7	30
15	卓球部	35	12	47	44	WILL(テニス)	20	10	30
16	体操競技部	16	3	19	45	MARINO(球技サークル)	6	3	9
17	ダンス部	15	21	36	46	合気研究会	5	6	11
18	柔道部	2	1	3	47	ブルーロゼット(テニス)	16	1	17
19	剣道部	22	13	35	48	ハンドボールサークル	16	9	25
20	空手道部	3	4	7	49	Wild Geese(アウトドア)	56	28	84
21	少林寺拳法部	10	8	18	50	日本拳法部	4	5	9
22	合気道部	11	8	19	51	ジャグリアーノ(ジャグリングサークル、大道芸)	58	17	75
23	ワンダーフォーゲル部	9	3	12	52	すまっしゅ(卓球)	21	7	28
24	ゴルフ部	14	2	16	53	フラメンコサークル OLE!	1	10	11
25	弓道部	7	3	10	54	RED HAPPINESS(軟式野球)	9	0	9
26	洋弓部	19	3	22	55	合気道・武の道	2	6	8
27	ヨット部	12	6	18	56	NEXT(ダンス)	6	12	18
28	端艇部(カッター部)	12	2	14	57	Links(ソフトテニス)	22	5	27
29	自動車部	16	0	16					

●体育系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	サッカー部	38	16	54	10	バドミントン部	31	34	65
2	医水野球部	16	11	27	11	バレーボール部	16	35	51
3	陸上競技部	26	31	57	12	卓球部	38	29	67
4	ゴルフ部	31	28	59	13	剣道部	24	26	50
5	ラグビー部	20	18	38	14	弓道部	21	36	57
6	ハンドボール部	14	12	26	15	空手道部	9	6	15
7	ソフトテニス部	21	21	42	16	競技スキー部	10	8	18
8	硬式テニス部	41	47	88	17	水泳部	4	0	4
9	バスケットボール部	13	19	32	18	山岳部	1	7	8

●文化系・全学

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	管弦楽団	21	46	67	30	ねこサークル	32	40	72
2	吹奏楽団	16	31	47	31	落語研究会	3	0	3
3	ギターマンドリンクラブ	12	13	25	32	Transfer(編入生対象)	64	47	111
4	ギタークラブ	13	14	27	33	SOLA(天文サークル)	46	36	82
5	邦楽部	1	9	10	34	BBS(教育ボランティア)	13	31	44
6	室内楽団	2	9	11	35	ふるさあ。(アンザンプルサークル)	20	36	56
7	写真部	13	26	39	36	聖書研究会	4	2	6
8	合唱団	23	21	44	37	Pioneer(アカペラ)	49	48	97
9	美術部	6	14	20	38	みえ・シネマ・アーカイブ	8	13	21
10	漫画倶楽部	23	14	37	39	ユネスコクラブ	2	3	5
11	ESS	38	43	81	40	アンビシャスカード(マジック)	43	13	56
12	軽音楽部	58	17	75	41	Silhouette(ジャズセッションサークル)	1	0	1
13	めばえサークル	2	3	5	42	ぶらり旅サークル	17	11	28
14	人形劇団つくし	4	8	12	43	DUEL(カードゲームサークル)	9	0	9
15	ピアノ同好会(KLUB KLAVIER)	15	15	30	44	DTMサークルJack	12	0	12
16	表千家茶道部	2	13	15	45	STRAT(ボランティア)	4	5	9
17	裏千家茶道部	2	21	23	46	MUS-net(災害ボランティア)	7	9	16
18	TRPG同好会(旧SF研究会)	16	0	16	47	食農サークル 農らく	6	1	7
19	リカゲル(創作活動サークル)	36	22	58	48	てらこや(国際交流サークル)	1	7	8
20	囲碁・将棋部	19	0	19	49	K.A.F(森林ボランティア)	5	4	9
21	HELLO FM!	20	13	33	50	ビッスモサークル	6	2	8
22	ヴァンパイア(献血推進サークル)	5	1	6	51	しろちどり(手芸サークル)	3	7	10
23	エレクトーンサークル23	9	7	16	52	メイク(地域おこし)	10	25	35
24	万葉旅行の会	14	6	20	53	つくしんぼサークル(子供ボランティア)	7	35	42
25	Brass band(楽器演奏)	11	9	20	54	FRre STyLe(ボランティア)	33	26	59
26	かめっぶり	29	28	57	55	クッキングアシスト	4	13	17
27	書道サークル(心太)	9	10	19	56	mil-pos(アクセサリ作成)	0	14	14
28	劇団クレスト(演劇)	3	10	13	57	カフェ・サークル Le Lien	4	0	4
29	卓上文化研究会	9	2	11					

●文化系・医学部

	クラブ名	男	女	計		クラブ名	男	女	計
1	美術部	0	3	3	8	子どもと一緒に小児医療を考える会	6	6	12
2	東洋医学研究会	15	18	33	9	BJ -よき医療者をめざす会-	10	12	22
3	軽音楽部	20	22	42	10	みえぬいぐるみ病院	6	11	17
4	セッションサークル BAG	27	21	48	11	MIE-project	6	13	19
5	きゅうめい部	30	52	82	12	小児科ボランティア ぞくよん	33	54	87
6	MIT	5	18	23	13	MUSH(Mie University Students Helper)	18	14	32
7	U-cam	6	7	13					

第63回東海地区国立大学体育大会成績結果一覧

①日時 平成26年5月24日(土)・25日(日)、31日(土)
6月1日(日)、7日(土)・8日(日)、14日(土)・15日(日)、21日(土)・22日(日)、28日(土)・29日(日)
7月5日(土)・6日(日)、12日(土)・13日(日)、19日(土)・20日(日)

②場所 岐阜メモリアルセンター長良川競技場他20会場

③幹事大学 岐阜大学

④成績

(男子)

競技種目	大学名	三重大 順位	名古屋大 順位	岐阜大 順位	名工大 順位	豊技大 順位	静岡大 順位	浜医大 順位	愛教大 順位	備考
1 陸上競技		3	4	5	6	8	2	7	1	
2 水泳		3	1	2	5	8	4	7	6	
3 硬式野球		/	/	/	/	/	/	/	/	1日目雨天中止、 2日目オープン競技
4 準硬式野球		5	3	5	2	5	5	3	1	3位、4位の区別なし、 5位以下は順位なし
5 硬式テニス		2	3	8	5	6	1	7	4	
6 ソフトテニス		4	/	1	2	5	5	5	3	前日雨天による1日目中止のため 試合形式変更5位以下順位なし
7 バスケットボール		2	/	4	1	6	3	/	5	
8 バレーボール		3	5	1	4	7	2	6	/	
9 卓球		4	3	6	2	/	1	/	5	
10 バドミントン		4	3	1	6	5	2	8	7	
11 サッカー		4	1	/	6	7	2	5	3	
12 ハンドボール		6	4	1	3	/	5	/	2	
13 柔道		/	2	1	5	5	3	/	4	5位以下は順位なし
14 剣道		5	4	1	6	7	2	8	3	
15 空手道		5	1	3	7	/	2	6	4	
16 弓道		5	3	2	4	5	5	1	/	5位以下は順位なし
17 体操		/	2	1	4	/	3	/	5	三重大不参加
18 馬術		3	3	2	1	/	5	/	5	3位、4位の区別なし、 5位以下は順位なし
19 アーチェリー		1	2	4	/	/	3	/	5	
20 少林寺拳法		2	/	4	/	/	1	/	3	名大不参加
男子順位		4	3	1	6	8	2	7	5	

(女子)

競技種目	大学名	三重大 順位	名古屋大 順位	岐阜大 順位	名工大 順位	豊技大 順位	静岡大 順位	浜医大 順位	愛教大 順位	備考
1 陸上競技		5	4	3	6	/	2	7	1	
2 水泳		5	3	1	/	/	6	4	2	
5 硬式テニス		2	4	6	/	/	1	3	5	豊技大不参加
6 ソフトテニス		3	/	4	2	/	1	5	5	前日雨天による1日目中止のため 試合形式変更5位以下順位なし
7 バスケットボール		5	4	3	/	/	1	/	2	
8 バレーボール		/	4	3	/	/	2	5	1	名工大不参加
9 卓球		5	1	2	6	/	4	/	3	
10 バドミントン		6	7	5	4	/	2	3	1	
12 ハンドボール		3	/	1	/	/	/	/	2	静大不参加
13 柔道		/	/	/	/	/	/	/	/	団体戦成立せず
14 剣道		3	2	1	/	/	4	6	5	
15 空手道		6	5	4	/	/	2	1	3	
16 弓道		4	5	2	3	7	6	1	/	
17 体操		/	/	/	/	/	/	/	/	オープン競技
19 アーチェリー		/	/	/	/	/	/	/	/	団体戦成立せず
女子順位		6	4	1	7	8	1	5	3	

Ⅲ 障がい学生支援室

平成26年度 活動報告

障がい学生支援室長 菊池 紀彦

1 障がいのある学生に対する相談支援

(1) 授業や学生生活に関する相談支援

- ①重複障がい(聴覚障害・肢体不自由)学生：1名(修学相談)
- ②発達障がい疑われる学生：1名(修学・就職相談)

2 支援学生の養成

(1) 共通教育授業「障がい学生支援実践」の実施

- ①ユニバーサルデザインについて(三重県健康福祉部地域福祉課職員)
- ②聴覚障がいについて(三重県聴覚障害者協会常務理事、聴覚障害要約筆記者)
- ③視覚障がいについて(NPO法人アイパートナー視覚障害者生活訓練等指導員)
- ④発達障がいについて(本学教育学部教員)
- ⑤本学定型業務等運営・支援センターキャンパス環境整備室職員との交流
- ⑥アカデミックフェアで学びの成果についての発表

3 支援活動を行う学生の支援・相談窓口

(1) 障がい学生支援に関する研修会情報の提供

- ①障がい学生支援セミナー「発達障がいのある学生の理解と支援」(平成27年3月4日)への参加

(2) 他大学との交流機会の提供

- ①東海地区障害学生高等教育支援交流会への参加(平成27年2月1日)
- ②愛知教育大学障がい学生支援サークル「てくてく」との交流(平成27年2月21日)

4 教職員との連携、学外関係機関との連携

- ①発達障がい学生が在籍する学部教職員との情報交換
- ②聴覚障がい学生が在籍する学部教員との情報交換
- ③三重県教育委員会高等学校特別支援教育コーディネーター連絡会における講演および情報交換
- ④三重県教育委員会高校教育課と発達障がいのある生徒の進学に関する情報交換
- ⑤三重県内高等学校特別支援コーディネーターに対する助言・指導

5 大学の環境や制度改善への提案

- ①障がい学生支援セミナーの実施「発達障がいのある学生の理解と支援」(教職員、学生を対象、平成27年3月4日)

6 学生主体による障がい学生支援の推進

- ①障がい学生支援実践において、学生支援組織の構築に向けた活動の展開
- ②日本福祉大学、愛知教育大学の学生支援団体との交流

7 三重大学教育GPにおける障がい学生支援の取組(平成26年度～平成27年度)

障がい学生支援室では、平成26年度～平成27年度の2年間、三重大学教育GPを取得し、本学における障がい学生支援のあり方についての検討を行った。以下は、平成26年度の取組についての報告である。

(1)取組の名称

障害学生支援に関する学生委員会の創設と学内リソースを活用した社会貢献活動の展開

(2)取組の趣旨・目的

近年、高等教育機関において、障害学生が多数在籍するようになった。本学においても、身体障害や発達障害のある学生が在籍し、教職員や健常学生の支援を受けながら学生生活を送っている。教育学部特別支援教育講座と学生総合支援センター障がい学生支援室は、障害学生が充実した大学生活を送ることができるよう、教職員へのFD研修会の開催や、授業において支援学生に支援技術を学ぶ機会の提供、支援のコーディネートを実施してきた。

今後こうした取組を充実させていきたいと考えているが、障害学生が在籍し、支援のニーズがある限りは、授業を受講した学生に対し、教職員が支援の依頼を行えば良い。ところが、障害学生の卒業等により支援のニーズが無くなると、授業で修得した知識や支援スキルを活かす場が失われてしまう。また、授業は毎年履修学生が替わるため、学年をまたぐ学生同士の縦のつながりができにくい。こうした問題を解決し、切れ目の無い障害学生支援の体制を維持し、発展させていくためには、授業という枠組みを基盤としつつも、学生が主体的に活動できるような体制の在り方や、授業で得た知識や支援スキルを活用する場を模索していくことが必要であると思われる。

以上のような理由により、本取組は、(1)学生自身が主体的に活動できるような組織づくりの支援、(2)学内外における障害児(者)に対する社会貢献活動の展開、の2点を目的とする。

(3)取組状況

①学生自身が主体的に活動できるような組織づくりの支援

I.共通教育授業「障がい学生支援実践」の開講

後期に授業を開講し、全学部から40名が受講している。これまで、肢体不自由、視覚障害、聴覚障害に関する実践的な授業を行った。また、11月下旬には、前半の授業の振り返りとして「障害のある学生が本学で学ぶ上で、困難が生じるであろう場面を考え、その解決のために学生同士がどのような行動を取るべきか」というテーマでグループワークを実施した。

II.先駆的な取組を実施する大学の視察

11月下旬に札幌学院大学を視察した。札幌学院大学では、教職員によるアクセシビリティ委員会、学生によるバリアフリー委員会が組織されている。バリアフリー委員会は、支援学生、障害学生が加入し、障害学生が自ら講師となって支援の在り方についての講習が行われていた。

III.学内外における障害児(者)に対する社会貢献活動の展開

11月中旬に、三重県教育委員会事務局主催の高等学校等特別支援コーディネーター等連絡会において、研修会講師を務めた。

②その他の取組

障害学生が在籍する学部教職員や出身校の特別支援コーディネーターと情報交換を適宜実施した。

(4)取組の成果

①学生自身が主体的に活動できるような組織づくりの支援

I.共通教育授業「障がい学生支援実践」の開講

それぞれの障害に関する基礎知識を修得することと、障害の様相に応じた支援技術の修得を目的とした授業を実施してきた。学生の授業出席率は毎回ほぼ100%であり、レポートの提出率もきわめて高い。このことから、授業については概ね計画通り遂行されているものと考えられる。グループワークにおいては、障害学生と同じ学部在籍する学生から、支援における合理的配慮の在り方が大事であるとの発言があった。

II.先駆的な取組を実施する大学の視察

障害学生支援の取組は、全国の各大学において展開されている。支援の在り方については、大学の教職員が中心となっているものが大半であるが、札幌学院大学においては、障害学生・支援学生自らが委員会を組織し、学生同士の学び合いのなかで障害学生支援が展開されていた。支援技術修得のための講習会を学生自身が企画し、障害学生が講習会の講師となるなど、学生組織中心の障害学生支援であった。本学においても、「障がい学生支援実践」を受講した学生による学生委員会組織の立ち上げを目指している。本学の今後の取組を行う上で、非常に示唆に富む視察であった。

②学内外における障害児(者)に対する社会貢献活動の展開

三重県立高等学校等の特別支援コーディネーター60名に対し、本学における障害学生支援の取組について話題提供を行った。参加者からは、「大学における障害学生支援の情報を得ることができて参考になった」「大学との具体的連携を考えなくてはならないと感じた」との声が聞かれた。障害のある人たちへの支援については、これまでは県教育委員会特別支援教育課との連携が中心であった。今回は高校教育課とのつながりが出来たこと、また、研修会後には、高校教育課の担当職員が来学し、高校から大学への引き継ぎの在り方について具体的な相談ができたことから、一定の成果があったと思われる。

(5)今後の計画

学生総合支援センター障がい学生支援室では、障害者基本法における合理的配慮の考え方に則った障害学生支援体制の整備・拡充を進めていきたいと考えている。来年度、学生総合支援センターには、障害学生支援やキャリア教育を担う教員が配属される予定である。その教員とともに、学生のニーズにマッチした支援活動、すなわち学生同士のピアサポート活動を展開する。

①学生自身が主体的に活動できるような組織づくりの支援

平成26年度の授業後半において、受講学生とともに授業の振り返りを行い、学生組織の在り方について検討し、取組の成果や今後の活動方針(案)について、2月中旬に開催されるアカデミックフェアで発表した。平成27年度以降は、委員会組織の活動拠点を学生総合支援センター内に設け、障害学生支援について学生相互が情報交換を図れるようにする。

②学内外における障害児(者)に対する社会貢献活動の展開

三重県教育委員会高校教育課との連携、情報交換を引き続き行う。また、現在、県内特別支援学校における学生の研修、授業補助についての相談を行っている。大学で修得した知識や支援技術を学外で活かすことができるよう調整を進めていきたい。

8 その他

①日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)地域ネットワーク形成支援事業 事業委員として活動

→東海地区障害学生支援担当教職員研修会(平成27年2月21日)の開催



写真1 共通教育校舎周辺の環境整備活動(落ち葉集め)

Ⅳ 学生なんでも相談室

平成26年度 活動報告

学生なんでも相談室長 鈴木 英一郎

1 相談・援助活動

(1) 来談者に関する統計

	新規相談受付						案内	Co.による 継続面接	その他の 継続対応	合計
	教育	心理	進路	生活	その他	合計				
4月	4	9	4	0	2	19	450	29	34	532
5月	1	5	0	0	0	6	48	41	25	120
6月	3	5	1	0	0	9	27	33	35	104
7月	2	5	2	0	4	13	20	37	32	102
8月	2	3	1	1	2	9	21	24	9	63
9月	0	3	1	2	1	7	18	29	27	81
10月	5	5	2	1	2	15	34	37	78	164
11月	1	2	0	1	3	7	21	37	30	95
12月	4	2	0	0	0	6	17	37	21	81
1月	2	0	3	1	0	6	21	35	48	110
2月	2	2	0	1	0	5	25	29	38	97
3月	1	2	0	1	0	4	15	17	33	69
合計	27	43	14	8	14	106	717	385	410	1618

※数字はいずれも延べ人数を示す。

※「Co.」は心理カウンセラーを指す。

※「新規相談受付」件数の「その他」は、心理テスト・箱庭療法体験、分類困難な相談等の総数を示す。

※「案内」は事務的な案内や比較的軽微な相談等、およびピアサポーターによる相談対応件数の総数を示す。

※「その他の継続対応」は、主にCo.による担当事例に関する面接室外のケースワーク活動等の総数を示す。

(2) ピアサポーターによる相談活動

① 新入生交流会「サポ太's cafe」

4月3日、8日(ピアサポートルーム)

② なんでも相談企画

春期「悩める仔羊たちへ みんなの悩みを摘ム摘ム」

*面談型(総合研究棟Ⅱ 1階)4月4日～4月7日、4月14日～18日

*出張型(共通教育1号館前)4月10日、4月11日

夏期「夏だぜ!君の思いを吐き出そう」

*相談カード投稿型(環境情報科学館1階、翠陵会館1階、共通教育棟1号館1階)

7月22日～8月1日

秋期「脱ヘタレー夏でヘタれたあなたにー」

*相談カード投稿型(環境情報科学館1階、翠陵会館1階、共通教育棟1号館1階)

10月1日～10月15日

2 教育・広報活動

(1) 教育活動

① 授業の担当

共通教育科目	前期	「こころのサポート」(鈴木)
共通教育科目	前期	「ピアサポート実践」(鈴木・川島)
共通教育科目	後期	「ピアサポート実践」(川島・鈴木)
共通教育(教職)科目	前期	「教育臨床II」(鈴木)
共通教育科目	後期	「学生生活支援実践」(鈴木)
教育学部	後期	「家族システム支援論」(鈴木)

② その他

医学部 三重県における医療系多職種連携教育(三重IPE)に関する検討会メンバー
及び関連ワークショップ講師(鈴木)

(2) 広報活動

① 教職員研修(FD・SD)

人文学部FD	講演「発達障害など特別な配慮が必要な学生の対応」 平成26年5月14日(鈴木)
生物資源学研究科FD	講演「留年する学生についての理解とその対応」 平成26年6月13日・16日(鈴木)
生物資源学研究科FD	講演「保護者対応」 平成26年10月9日・10日(鈴木)
生物資源学研究科FD	講演「発達障害のある学生の理解と対応」 平成26年12月11日・12日(鈴木)

② 広報

- ・ 新入生に対する相談室PRカードの配布
- ・ 来談促進用ポスターの作成と掲示
- ・ 教職員を対象としたニュースレター(メールマガジン)の作成と配信

3 研究活動

(1) 論文

- ・ 鈴木英一郎・川島一晃・長屋祐一 大学教員による学生対応に対する支援のあり方に関する考察：
教員を対象としたアンケート調査から 学生相談研究 第35巻 第1号,28-43.
- ・ 安住伸子・菊池悌一郎・川島一晃・坂本憲治・齋藤憲司・鈴木英一郎 学生相談カウンセラーの発達過程
神戸女学院大学カウンセリングルーム紀要 第20巻,38-56.

(2) 学会発表

- ・ 川島一晃・鈴木英一郎・後藤綾文 カウンセラーによるキャリア教育の実践についての一考察
—新しい大学への貢献の可能性— 日本学生相談学会第32回大会

(3) シンポジウム

- ・ 日本心理臨床学会第33回秋季大会(平成26年8月23日)における自主シンポジウム「学生相談機関が大学コミュニティに対して果たす貢献のあり方と可能性—多様な実践を通じての検討—」に鈴木(話題提供者)と川島(司会・企画者)が登壇。

4 大学・地域連携

(1) 講演・研修

① 大学

- ・ 三重県立看護大学 人権・ISO委員会主催講演会 講師
平成26年7月14日(鈴木)

② 地域(自治体など)

- ・ 公益社団法人三重県看護協会 三重県保健師助産師看護師実習指導者講習会 講師
平成26年9月12日(鈴木)

5 研修

- ・ 第52回全国学生相談研修会(主催:日本学生相談学会、平成25年11月30日～12月2日)に鈴木、川島、後藤綾が参加。
- ・ 第48回全国学生相談研究会議(鳥羽シンポジウム)(主催:全国学生相談研究会議、平成27年1月28日～30日)に鈴木が参加。

平成26年度 スタッフ

室長	鈴木 英一郎(学生総合支援センター 助教)
アドバイザー	白石 泰三(医学部医学科 教授)
カウンセラー	川島 一晃(学生総合支援センター 講師)
	後藤 綾文(学生総合支援センター 特任講師)
	藤川 和(非常勤)
	牧野 勢津子(非常勤)
	イレーネ・ビューフリ・内田(非常勤)
インターカー	浮田 めぐみ(事務補佐員)

◆ 目次 ◆

1. 相談室利用状況から
2. 大学生の発達障がいについて
- 3.【連載】学生対応の注意点(「三重大学学生対応ガイドブック」より)
- 4.【連載】学生が先生に言われて嬉しかった一言!
5. お知らせ

先生方におかれましては、日頃より学生なんでも相談室の活動にご理解、ご支援をいただき、大変ありがとうございます。

一昨年度より当相談室にて発行しておりましたニュースレター「学生なんでも相談室ニュース」ですが、今号より新たにメールマガジン形式でお届けすることに致しました。今後も引き続き、相談室の利用状況や学生対応をいただく際に有用な情報などをご紹介していきたいと考えております。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、年間に1, 2回程度の発行予定ですので、ぜひご高覧いただければと存じます。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

1 相談室利用状況から

● 教職員からの延べ相談件数(カッコ内は実数)

	4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期
平成25年度	45(15)	33(13)	33(20)	28(15)
平成26年度	36(16)	33(12)	—	—

当相談室は、学生の日々の生活における困り事や悩み事への相談対応をメイン業務としておりますが、学生の対応に際し、お困りになられている教員、職員、学生の保護者の方のご相談も承っております。

上記の表は、昨年度と今年度(9月現在)における本学教職員の方からいただいたご相談の延べ件数、およびその実人数を示したものです。こうして見ますと、実数ベースで、3か月毎に15名前後の教職員の方からのご相談をいただいていることが分かります。つまり、ほぼ週に一人の割合で、教職員の方が相談に来てくださっているという計算になるわけですね。

近年の傾向として、エネルギーやストレス耐性が低く、なかなか独力で問題を解決することができないでいる学生をよく見受けます。このような学生に対しては、その学生を取り巻く様々な関係者同士が、「援助資源」として互いにきちんと連携し機能していることが、対応をととても楽にしてくれます。先生方におかれましても、対応に苦慮しておられる学生案件をお持ちでしたら、遠慮なく当相談室までご相談くださいますようお願い致します。

2 大学生の発達障がいについて

近年、大学における「発達障がい」の学生への対応が盛んに議論されるようになりました。大学生が抱える発達障がいとしては、①自閉症スペクトラム障害(ASD)②注意欠陥多動性障害(ADHD)③学習障害(LD)などが挙げられますが、いずれも、生まれつき、あるいはごく早期からもっている特徴で、その根本的な部分はあまり変化なく終生続くものであるため、その特徴を考慮した上で、周囲が適切な対応(修学指導・修学支援)をすることが求められています。

その特徴の把握、対応方法については、近年様々な文献が出版されております。そのいくつかについて、以下にご紹介いたしますので、よろしければご参考ください。また、実際にそのような可能性を持った学生のご対応に苦慮されている先生がおられましたら、気軽に学生なんでも相談室までご相談をいただければと存じます。

◎「大学教職員のための大学生のこころのケア・ガイドブック ―精神科と学生相談からの15章」

福田真也 著 金剛出版

<http://kongoshuppan.co.jp/dm/dm.php?cd=0967>

※発達障がいに限らず、うつや不登校の問題も含んだ全般的な内容です。

◎「ぼくらの中の発達障害(ちくまプリマー新書)」

青木省三 著 筑摩書房

<http://www.chikumashobo.co.jp/product/9784480688927/>

◎「発達障害のある大学生のキャンパスライフサポートブック:

大学・本人・家族にできること(学研のヒューマンケアブックス)」

高橋知音 著 学研教育出版

<http://hon.gakken.jp/book/1340532400>

◎「教職員のための障害学生修学支援ガイド」

日本学生支援機構

http://www.jasso.go.jp/tokubetsu_shien/guide/top.html

(「日本学生支援機構」のウェブページ内にPDFでアップされています)

3 【連載】学生対応の注意点(「三重大学学生対応ガイドブック」より)

連載企画として、毎回「学生対応ガイドブック(第2版)」(三重大学学生総合支援センター、2009)より、先生方が日常的に学生対応をされる際のご参考にしていただければ幸いです。

●保護者に連絡・相談する必要がある時

〈事例〉

担任をしている1年生のAくんについて。成績表配付と今後の履修指導のためにメールで呼び出したが、返事もなく、予定していた日には、結局顔を見ることができなかった。心配になって、他の同級生などにも話を聞いてみると、「しばらく顔を見ていないので自分たちも心配している。携帯電話に連絡を入れても繋がらない。」とのこと。Aくんは自宅から通学しており、両親や祖父母と同居しているらしいことは以前に聞いている。

〈対応と経過〉

再度、当該学生の携帯電話にメールや電話をするも応答が無いため、自宅へ電話して母親と話をした。事情を伝えたところ、母親も、1か月ほど前から大学に行けていない状況は認識していたようで、心配していたとのことであった。また、最近では、時々近くの本屋などに出かける以外は自室で過ごしていることが多く、どう接してあげたら良いのか分からなくなっていた、とのことであった。

そこで、まずは担任として今後の履修計画について一緒に相談したいと考えている、という旨を母親からAくんに伝えてもらうこととし、一人で大学に出て来るのが難しいようなら、母親も一緒に来てもらうことを提案した。後日に、Aくんは母親に連れられて相談に訪れ、ある科目に対して理解がなくなってしまったことを契機に授業に出るのが億劫になってしまったこと、それが他の科目にも連鎖して気がついたら不登校状態になってしまっていたことなどを語ってくれた。担任からは、まだ十分に追いつくことも可能であると説明し、母親にも協力してもらいながら、まずは無理なく参加できる授業から継続的に出席する方針で考えていくことを約束した。また、“味方を増やす”という意味から、学内の援助組織(学生なんでも相談室や保健管理センター)でも相談してみることを勧めた。母親も、担任からの言葉に安心した様子であった。

〈解説〉

①保護者の方との連携を検討する判断基準

学生本人に降りかかる様々な問題に対して、学生が自らの力で取り組み乗り越えていくためには、本人に元々問題解決に必要なある程度の準備ができてることが前提となります。「直面している問題が当該学生の持つ対処能力やストレス耐性で対応できるものか」、「当該学生は、他の誰か(サークルやバイト先の仲間、他の教職員など)と社会的な繋がりを持っているか(本人の周囲に援助資源となりうる環境があるか)」という視点から検討し、それぞれの要素が低く準備が十分でないとは判断される場合には、保護者への連絡や他部署との連携について積極的に検討する必要があるでしょう。事例のように、保護者との間でも適切な繋がりを持つことができれば、学生本人にとっても有効な援助資源として機能して下さることが多いと考えます。

②学生のプライバシーや秘密保護との兼ね合い

学生の状況や成績のこと等、学生本人のプライバシーや秘密保護という視点から考えると、保護者とはいへどこまで話して良いのだろうか、と迷ってしまうものです。基本的には、やはり学生本人の了承を取った上で(納得のできるような説明を行い、伝える内容についても本人の希望に配慮した上で)行う必要があるでしょう。

とはいえ、事例のような状況であれば、本人の了承を取ることが非常に難しいのも事実です。そういった場合には、たとえ本人の了承が取れない段階でも、大学側の安全配慮義務(学生が安全に過ごせるように大学側が必要な配慮しなければならない、という義務)という観点から鑑み、必要に応じて「最近〇〇くんの顔を見ていないので心配になって連絡させていただきました。何かご存知の事があれば、是非教えてください。」等の連絡を、保護者の方に対して行うこともできるでしょう。その他にも、病理的な問題の可能性や自傷他害の恐れが考えられる場合など、例外的に早急な対応が必要になってくることもあります。

一方、保護者の方から教員に対して相談を持ち込まれることもあるでしょう。中には「子どもには内緒で…」と言われることもありえます。この場合も判断に迷うところではありますが、その保護者の方の不安や戸惑いを丁寧に聞くことをまずは優先して、その後、徐々に学生の了解のもとで対応が進められる方向性を考えていけると良いと思います。

③教職員の側も連携を

ただ、緊急度の高い状況に直面すると、冷静な判断をすることは大変難しいものです。事態が深刻であるほど、複数の教職員とチームになって対応するようにした方が良いでしょう。対応に迷われた場合には、各部局に固有の支援システム(学生なんでも相談室分室など)をご利用いただいたり、学生なんでも相談室や保健管理センターなどにご相談ください。

※この項は、三重大学学生総合支援センター(2009)「三重大学学生対応ガイドブック」P.32～35に掲載された内容に一部加筆修正を行ったものです。

4 【連載】学生が先生に言われて嬉しかった一言！

連載企画として、毎回「先生からこんな言葉をかけてもらったのが嬉しかった」、「あの時の先生のこんな言葉で支えられた」というような本学における学生の体験を、ピアサポーター学生委員会の協力のもと収集して、順次紹介しております。

●「期待している学生には、ついアツくなって厳しくしてしまうんだよね。」

〈理由〉

いつもゼミで発表内容や発表の仕方についてこっぴどく突っ込まれ、落ち込むことが多々あった。しかし、ある日研究室で先生とお話ししていて何気なく発された上記の一言で、ゼミでの厳しいご指導に心から感謝し、素直に受け止めることもできるようになった。(修士2年)

⇒ある学生が、先生との日常的な会話の中で経験したの一コマのようです。おそらく多くの先生が、実際に口にしないまでも、同様の思いで学生の指導に当たっておられることと想像しますが、やはりその思いをきちんと伝えてもらえると、学生にとっても嬉しい気持ちになれるようです。もちろん、このような思いをわざわざ口にするのは苦手である、または無粋である、と感じられる先生もおられるかと存じます。確かに、無理をしない各先生方の個性を生かした学生対応、というのも重要です。しかしながら、一方で、「今の学生は厳しく言うとすぐに潰れてしまう」と感じておられる先生もおられるかと存じます。そんな時は、可能な範囲で、「誉めてあげる(認めてあげる)」部分を少し分かり易く作ってあげることによって、学生たちにもより良く響いていくのかもしれない。

5 お知らせ

★学生なんでも相談室は「学生」だけが相談できる場所、ではありません！

もちろん、三重大生の日々の生活の中で起こる困りごとや悩みごとの相談がメイン業務ではありますが、学生の対応に際し、お困りになられている教員、職員、保護者の方のご相談も承っております。どうぞ気軽にご利用ください。

★学生理解、または学生対応に関する各種講演、FDも承っております。

これまでも、学生対応に関する総論的な留意点の解説をはじめ、不登校、発達障がい、留年を繰り返す学生、ハラスメント問題等のテーマでの講演のご依頼を各部局からいただきました。ご用命がございましたら、学生なんでも相談室までご連絡ください。

◆このメール内容についてのお問い合わせはこちらまでお寄せください。

E-Mail: sodan@ab.mie-u.ac.jp

◆このメールに掲載されている全ての記事、文章等の無断転載を禁止します。

Copyright (C) 2014 三重大学学生総合支援センター 学生なんでも相談室. All Rights Reserved.

V キャリア支援センター

平成26年度 活動報告

1 キャリア教育

【平成26年度開講 共通教育キャリア教育科目一覧】

	科目名	担当教員	開講時期	単位数
総合科目	アントレプレナー論	教育学部 教授 山根 栄次 他	前期	2単位
	知財学入門	教育学部 教授 松岡 守 他	後期	2単位
通常科目	キャリアプランニング	学生総合支援センター 特任教授 長谷川岳雄 他	前期(5コマ) 後期(2コマ)	各2単位
	こころのサポート	学生なんでも相談室 助教 鈴木英一郎 他	前期(3コマ) 後期(3コマ)	各2単位
	AIー人と組織を生かす発想法ー	人文学部 教授 中川 正 他	前期(3コマ) 後期(1コマ)	各2単位
	地域の仕事を知る	医学系研究科 教授 西村 訓弘	後期	2単位
	キャリア・インターンシップ I	学生総合支援センター 特任教授 長谷川岳雄 他	前期	2単位
	法則探検入門	人文学部 教授 中川 正	前期	2単位
	学習支援実践 I	教養教育機構 准教授 中島 誠 他	前期	2単位
	学習支援実践Ⅲ(日本語)	学生総合支援センター 講師 川島一晃 他	前期	2単位
	ピアサポート実践	学生なんでも相談室 助教 鈴木英一郎 他	前期 後期	各2単位
	学生生活支援実践	学生なんでも相談室 助教 鈴木英一郎	後期	2単位
	留学生支援実践	学生総合支援センター 講師 川島一晃 他	後期	2単位
	大学紹介実践	生物資源学研究科企画調整室 産学連携コーディネーター 佐藤 之彦	後期	2単位
	広報誌編集実践	生物資源学研究科 教授 村上 克介	後期	2単位
	障がい学生支援実践	教育学部 准教授 菊池 紀彦 他	後期	2単位
	三重大ブランドづくり実践	社会連携研究センター 特任教授 久松 眞	後期	2単位
	男女共同参画実践	人文学部 教授 朴 恵淑 他	後期	2単位
	社会連携実践 I	医学系研究科 教授 西村 訓弘 他	前期	2単位
	社会連携実践 II	医学系研究科 教授 西村 訓弘 他	後期	2単位

	科目名	担当教員	開講時期	単位数
通常科目	社会連携実践Ⅲ	非常勤講師 伊藤 公昭 他	後期	2単位
	法則探検実践	人文学部 教授 中川 正	後期	2単位
	キャリアイベント実践	人文学部 教授 中川 正 他	前期 後期	2単位
	仕事・社会を知る	学生総合支援センター 特任教授 長谷川岳雄 他	後期	2単位
	キャリア形成・能力開発	学生総合支援センター 特任教授 長谷川岳雄 他	後期	2単位
	合 計		30科目 (前期11科目)(後期19科目)	

2 インターンシップ

【所属別・学年別参加者数】

所属	学部生					大学院生				合計
	1年	2年	3年	4年	小計	修士	博士	研究生	小計	
人文学部	8	9	63	1	81			1	1	82
教育学部	2	1	30		33				0	33
医学部		1	1		2				0	2
工学部	4	2	64	3	73	36	1		37	110
生物資源学部	19	11	59	5	94	8			8	102
地域イノベーション学研究科	-	-	-	-	0	7			7	7
合計	33	24	217	9	283	51	1	1	53	336

○企業等受入数 165機関

○インターンシップ事前・事後研修会を開催

〈事前研修会〉

- ・平成26年5月10日(土)13:00~17:30 講堂大ホール他
- ・参加学生数 465人

〈事後研修会〉

- ・平成26年10月22日(水)16:30~18:30 共通教育3号館1201番教室
- ・参加学生数 109人

3 就職活動支援

(1) 就職ガイダンス

- ・平成26年4月～平成27年3月 26回実施 講堂大ホール他
- ・参加学生数 延べ 8,757人

	ガイダンス名等	日時	場所	講師等	対象	参加数
前期	1 公務員試験対策講座	5月14日(水) 13:00～14:30 16:30～18:00	講堂小ホール	生協	全学 (1年～3年 院1年)	324
	2 就活全般相談 (フリースタイル)	5月16日(金) 13:00～17:00	セミナー室、 情報コーナー	キャリア支援 センター	4年、院2年	18
	3 就活スケジュール等、 就職活動について (就活手帳を配布)	5月21日(水) 16:30～18:00 5月23日(金)	講堂大ホール	(株)マイナビ	3年、院1年	618
	4 時事がわかる! 表現力・コミュニケーション力 がつくナビの使い方	6月4日(水) 16:30～17:30	講堂小ホール	(株)学情	全学 (1年～3年 院1年)	146
	5 筆記(SPI)試験対策	6月18日(水) 16:30～18:00 6月27日(金)	講堂小ホール	(株)リクルート	3年、院1年	244
	6 職務適正検査および 業界・企業・職種説明	7月9日(水) 16:30～18:00	講堂大ホール	(株)ディスコ	3年、院1年	299
	7 保護者向け「就職活動」 についての説明会	7月13日(日) 13:00～16:00	講堂すべて	(株)リクルート	3年、院1年の 保護者	680
後期	8 面接で避けて通れない" 時事問題 -日経の徹底活用 で完璧な時事対策座-	10月8日(水) 16:30～18:00	メディアホール	日経メディア プロモーション(株)	全学 (1年～3年 院1年)	144
	9 実践! グループディスカッション	10月15日(水) 16:30～18:30 10月24日(金)	メディアホール	キャリア支援 センター	3年、院1年	42
	10 ワーク型!企業研究	10月29日(水) 16:30～18:30 10月31日(金)	セミナー室、 情報コーナー	キャリア支援 センター	3年、院1年	36
	11 実践! グループディスカッション	11月5日(水) 13:00～15:00 16:30～18:30	メディアホール	キャリア支援 センター	3年、院1年	63
	12 ワーク型!企業研究	11月12日(水) 13:00～15:00 16:30～18:30	セミナー室、 情報コーナー	キャリア支援 センター	3年、院1年	43
	13 リーディング産業展みえ	11月14日(金) 10:00～17:00 11月15日(土)	四日市ドーム	キャリア支援 センター	3年、院1年	47
	14 先輩に聞く就活の仕方	11月19日(水) 13:00～16:00 11月20日(木)	メディアホール、 ロビー	キャリア支援 センター	全学 (1年～3年 院1年)	120
	15 社会人としての身だしなみ とマナー	11月26日(水) 16:30～18:00	メディアホール	(株)学情	3年、院1年	55
	16 ワーク型!エントリーシート 自己PR編	12月10日(水) 16:30～18:30 12月12日(金)	メディアホール	キャリア支援 センター	3年、院1年	86
	17 OB・OGに聞く パネルディスカッション	12月17日(水) 16:30～18:00	講堂小ホール	(株)ジェイ・ ブロード	3年、院1年	80

	ガイダンス名等	日時	場所	講師等	対象	参加数
後 期	18 ワーク型!エントリーシート 志望動機編	1月7日(水) 13:00~15:00 16:30~18:30	メディアホール	キャリア支援 センター	3年、院1年	72
	19 ワーク型!エントリーシート 自己PR編	1月14日(水) 16:30~18:30	メディアホール	キャリア支援 センター	3年、院1年	59
	20 《第一部》働くとは…労働法 の基礎知識教えます!! ----- 《第二部》就職活動に向けた、 就活テクニック伝えます!	1月21日(水) 《第一部》 15:30~16:20 《第二部》 16:30~18:00	医学部臨床 第三講義室	三重労働局/ (株)マイナビ	3年、院1年	367
	21 ワーク型!エントリーシート 志望動機編	1月23日(金) 16:30~18:30	メディアホール	キャリア支援 センター	3年、院1年	32
	22 就活全般相談 (フリースタイル)	1月26日(月) 13:00~17:00	メープル館2階	キャリア支援 センター	3年、院1年	17
	23 公務員等説明会	1月28日(水) 13:00~17:00	講堂小ホール・ ホワイエ	キャリア支援 センター	3年、院1年	137
	24 入社採用試験! 人事はここを見えています! 有名企業人事担当者が 特別に語る ～人事のぶっちゃけトーク～	2月17日(火) 13:30~16:45	医学部臨床 第三講義室	(株)マイナビ (株)リクルート	3年、院1年	304
	25 学内企業研究会 まわり方講座	3月9日(月) 10:30~12:00 13:30~15:00	講堂小ホール	(株)ジェイ・ ブロード	3年、院1年	247
	26 学内企業研究会	3月14日(土) ~18日(水) 9:30~17:30	講堂すべて	大手企業・ 地元優良企業	3年、院1年	4,477
	計					

(2)ミニ講座(少人数制:個人面接・集団面接・グループディスカッション対策等)

- ・平成26年4月~平成27年3月 29回実施 セミナー室他
- ・参加学生数 延べ198人

	実施日	内容	参加数
1	4/3	個人面接対策	9
2	4/4	個人面接対策	8
3	4/11	集団面接対策	6
4	4/15	個人面接対策	9
5	4/25	集団面接対策	5
6	5/7	集団面接対策	4
7	5/9	個人面接対策	5
8	6/19	個人面接対策	6
9	6/24	集団面接対策	2
10	7/1	個人面接対策	13

11	7/11	集団討論	5
12	7/11	個人面接対策	6
13	7/17	個人面接対策	11
14	7/23	集団討論	14
15	7/31	個人面接対策	4
16	7/31	集団討論	11
17	8/8	個人面接対策	5
18	8/8	集団討論	5
19	8/20	個人面接対策	4
20	8/21	集団討論	5
21	9/29	集団面接対策	5
22	10/16	集団討論	9
23	10/20	集団面接対策	3
24	10/27	集団討論	6
25	10/30	集団面接対策	4
26	11/7	個人面接対策	2
27	2/26	グループディスカッション	13
28	3/20	グループディスカッション	8
29	3/24	集団面接講座	11
計			198

(3) 就職相談

・キャリア・カウンセラー就職相談〔就職相談コーナー〕

【月別・相談内容別件数】

	就職相談	進路決定 相談	内定・内 定の相談	履歴書 作成	エントリー シート作成	志望動機	自己PR	面接	メンタル 面	自己分析	その他	合計
4月	25	4	6	7	28	4	4	85	0	0	1	164
5月	15	1	26	6	18	1	1	37	0	0	3	108
6月	14	2	9	2	31	0	0	56	0	0	7	121
7月	13	2	7	6	27	4	1	72	0	2	2	136
8月	6	1	8	2	5	0	2	30	0	0	2	56
9月	14	1	8	7	3	1	1	11	0	0	4	50
10月	14	2	4	1	13	0	0	53	0	0	5	92
11月	23	4	8	1	1	3	0	11	0	0	2	53
12月	15	4	6	3	15	0	0	8	0	0	7	58
1月	30	3	3	15	23	3	8	9	0	0	7	101
2月	33	2	0	17	25	5	19	8	0	0	3	112
3月	31	5	0	20	65	5	13	5	0	2	0	146
合計	233	31	85	87	254	26	49	385	0	4	43	1,197

4 キャリア・ピアサポーター

○平成26年度(前期)資格認定者	上級	10人
	初級	8人
○平成26年度(後期)資格認定者	上級	1人
	初級	6人

5 文部科学省大学改革推進事業

○文部科学省大学改革推進事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業(平成24年度新規事業)」に中部地域23校の代表校(幹事校)として採択

1. 取組名称：「中部圏の地域・産業界との連携を通じた教育改革力の強化」
2. 事業期間：平成24年度～平成26年度
3. 取組テーマ：(1)アクティブラーニングを活用した教育力の強化
(2)地域・産業界との連携力の強化
4. 事業費：平成26年度 218,073千円(中部地域大学グループ全体)
19,940千円(三重大学)

[平成26年度の主な活動実績]

- 5月31日 大学教育学会2014 ラウンドテーブル「失敗学から学ぶ大学教育改革」
- 6月12日 三重キャリア連携会議(第1回)
- 11月15日 中部圏産学連携会議
- 12月4日 三重キャリア連携会議(第2回)

平成26年度就職状況について

区分	卒業・修了者	卒業・修了者の内訳					就職率(%) (就職希望者に占める就職者の割合)					平成26年度		前年度		平成27年5月1日現在 平均年度就職率(%)
		進学	就職者	その他	近畿地方	関東地方 (静岡・岐阜)	東海地方 (神奈川・岐阜)	近畿地方	関東地方	東海地方	その他	就職率(%)	対前年度増減(%)	平均年度就職率(%)		
														就職率(%)	対前年度増減(%)	
人文学部	文学部	118(90)	7(4)	14(10)	97(78)	32(27)	21(16)	6(3)	22(19)	13(10)	3(1)	97(97.4)	2.8(1.6)	94.2(95.8)	92.8(91.7)	
	法学部	187(82)	5(1)	13(11)	169(80)	37(18)	56(21)	11(4)	47(28)	14(7)	4(2)	97.1(98.8)	0.1(3.8)	97.0(95.0)	98.2(96.6)	
	経済学部	305(172)	12(5)	27(11)	266(156)	69(45)	77(37)	17(7)	69(47)	27(17)	7(3)	97.1(98.1)	1.0(2.7)	96.1(95.4)	96.2(95.0)	
	経営学部	148(86)	14(6)	4(1)	130(79)	79(47)	37(25)	5(1)	6(5)	6(5)	1(0)	96.5(98.8)	△1.5(△1.2)	100.0(100.0)	96.9(96.3)	
	教育学部	20(3)	2(0)	1(0)	18(3)	8(4)	5(2)	2(1)	2(1)	1(0)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	94.1(100.0)	
	人間発達科学部	23(18)	4(3)	2(2)	17(13)	6(5)	5(3)	1(1)	4(3)	1(1)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	
	看護学部	208(114)	22(9)	6(3)	180(102)	107(58)	50(31)	6(2)	8(5)	7(6)	2(0)	98.9(99.0)	△0.6(△1.0)	99.5(100.0)	97.2(97.3)	
	医学部	118(43)	1(1)	8(11)	110(42)	5(1)	14(13)	4(4)	2(1)	16(13)	0(0)	98.8(98.7)	△1.2(△1.3)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	
	工学部	205(124)	1(1)	13(6)	81(78)	45(43)	14(13)	4(4)	2(2)	16(13)	0(0)	98.8(98.7)	△1.2(△1.3)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	
	生物資源学部	95(4)	54(0)	4(0)	37(4)	6(0)	13(3)	1(0)	9(1)	6(0)	2(0)	97.4(100.0)	△2.6(0.0)	100.0(100.0)	94.1(100.0)	
大学院	理学部	94(1)	49(1)	1(0)	35(0)	3(0)	16(0)	2(0)	11(0)	2(0)	1(0)	100.0(100.0)	0.1(0.0)	96.9(100.0)	93.1(100.0)	
	工学部	97(16)	64(6)	1(0)	32(10)	7(4)	13(5)	2(1)	4(2)	6(1)	2(0)	97.0(100.0)	7.7(14.3)	92.3(85.7)	95.8(100.0)	
	工学部	46(8)	15(1)	4(0)	31(7)	4(0)	8(1)	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	91.7(100.0)	1.5(0.0)	90.2(100.0)	100.0(100.0)	
	工学部	44(5)	18(2)	4(0)	22(3)	6(1)	7(1)	1(0)	4(2)	2(0)	1(0)	93.8(100.0)	△8.2(0.0)	100.0(100.0)	90.5(100.0)	
	工学部	37(7)	21(1)	1(0)	15(6)	7(1)	8(1)	2(1)	4(2)	2(0)	1(0)	97.2(100.0)	1.2(3.4)	96.0(96.6)	95.4(100.0)	
	工学部	72(35)	13(5)	4(3)	55(28)	19(10)	18(10)	5(2)	7(2)	4(2)	2(2)	96.5(96.6)	△3.5(△3.4)	100.0(100.0)	97.7(100.0)	
	工学部	99(33)	28(6)	6(1)	65(28)	14(5)	30(14)	6(2)	7(4)	6(0)	2(1)	98.5(100.0)	5.9(4.0)	92.6(96.0)	92.1(90.0)	
	工学部	100(44)	37(14)	8(2)	55(28)	10(6)	17(9)	3(1)	13(7)	7(3)	5(2)	88.7(93.3)	△4.3(△2.7)	93.0(96.0)	96.1(100.0)	
	工学部	271(113)	78(25)	18(6)	175(82)	43(21)	65(33)	14(5)	27(13)	17(5)	9(5)	94.6(96.5)	0.0(△0.9)	94.6(97.4)	95.4(95.8)	
	工学部	1,392(564)	334(51)	74(26)	974(446)	292(169)	267(126)	48(19)	147(77)	96(46)	24(8)	97.1(98.2)	0.2(0.3)	95.9(97.7)	96.5(96.9)	
大学院	人文社会学部	8(4)	1(0)	2(1)	6(3)	2(0)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	85.7(100.0)	△4.3(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	
	社会学部	8(2)	1(0)	4(2)	5(1)	4(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(0)	2(1)	91.7(100.0)	△8.3(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	
	教育学部	16(6)	1(0)	4(4)	11(4)	6(1)	1(1)	1(1)	1(1)	2(0)	1(1)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	90.9(87.0)	100.0(100.0)	
	教育学部	39(20)	2(1)	4(4)	33(15)	25(11)	5(3)	1(1)	1(1)	2(0)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	
	教育学部	41(21)	2(1)	4(4)	35(18)	26(11)	5(3)	0(0)	2(2)	2(0)	0(0)	100.0(100.0)	7.5(12.5)	92.5(87.5)	100.0(100.0)	
	工学部	8(2)	3(1)	1(1)	4(0)	1(0)	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	88.9(100.0)	
	工学部	13(13)	8(8)	3(0)	13(13)	8(8)	2(2)	2(2)	2(2)	1(1)	1(1)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	
	工学部	34(3)	2(1)	3(0)	31(3)	24(1)	1(1)	1(1)	2(1)	2(0)	2(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	98.0(100.0)	
	工学部	55(18)	3(1)	4(1)	48(16)	33(9)	5(3)	0(0)	4(3)	4(1)	2(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	96.8(100.0)	
	工学部	55(1)	1(0)	4(1)	54(1)	31(0)	31(0)	2(0)	14(0)	7(1)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)	
工学部	44(3)	1(0)	4(3)	43(3)	2(0)	21(2)	2(0)	11(1)	7(0)	0(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	59(11)	3(1)	6(0)	56(10)	6(0)	29(5)	3(2)	10(1)	8(2)	1(0)	100.0(100.0)	3.1(0.0)	96.9(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	14(7)	1(1)	3(0)	13(6)	2(1)	2(1)	5(3)	3(1)	3(1)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	29(2)	1(0)	8(8)	28(2)	6(1)	13(1)	9(0)	9(0)	2(0)	2(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	16(1)	1(0)	15(1)	15(1)	1(0)	10(1)	2(0)	2(0)	2(0)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	217(25)	8(2)	0(0)	209(23)	17(2)	106(10)	7(2)	51(5)	27(4)	1(0)	100.0(100.0)	0.8(0.0)	99.2(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	6(1)	1(0)	1(0)	5(1)	5(1)	1(0)	2(0)	4(1)	1(0)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	15(2)	0(0)	1(0)	14(2)	5(1)	1(0)	2(0)	4(1)	1(0)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	18(10)	1(1)	4(2)	13(7)	5(3)	4(2)	2(1)	2(1)	2(1)	1(0)	92.9(100.0)	△7.1(0.0)	100.0(100.0)	88.9(100.0)		
工学部	29(7)	1(0)	6(2)	22(5)	3(2)	8(0)	1(0)	6(2)	4(1)	1(0)	95.7(100.0)	△4.3(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	43(11)	6(0)	4(2)	33(9)	7(4)	6(0)	1(0)	11(3)	6(1)	2(1)	97.1(100.0)	4.0(12.5)	93.1(87.5)	97.3(100.0)		
工学部	90(28)	8(1)	14(6)	68(21)	15(9)	18(2)	2(0)	19(6)	12(3)	2(1)	95.8(100.0)	△1.5(5.9)	97.3(94.1)	96.3(95.8)		
工学部	4(2)	4(2)	1(0)	3(2)	2(2)	3(2)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	75.0(100.0)	△25.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	4(0)	5(0)	1(0)	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	66.7(100.0)		
工学部	13(4)	0(0)	5(2)	8(2)	5(2)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)	88.9(100.0)	△11.1(0.0)	100.0(100.0)	80.0(100.0)		
工学部	11(3)	0(0)	0(0)	11(3)	3(2)	3(0)	0(0)	3(1)	2(0)	0(0)	100.0(100.0)	11.1(0.0)	88.9(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	11(3)	0(0)	0(0)	11(3)	3(2)	3(0)	0(0)	3(1)	2(0)	0(0)	100.0(100.0)	11.1(0.0)	88.9(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	2(1)	2(1)	2(1)	1(0)	2(1)	1(0)	1(0)	1(1)	1(1)	1(0)	100.0(100.0)	0.0(0.0)	100.0(100.0)	100.0(100.0)		
工学部	460(108)	22(5)	32(15)	406(88)	111(37)	139(19)	12(3)	84(18)	49(9)	11(2)	98.8(100.0)	0.6(4.9)	98.2(95.1)	98.5(95.9)		

(注)博士課程、博士後課程の修了者については、単位取得後開学卒業生を含む。()内は、女子学生数を内線で示す。

【産別就職状況】

平成27年5月1日現在

区分	就職者	就職者の内訳														その他	
		農林業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	情報通信業	運輸業・郵便業	卸売・小売業	金融業・保険業	不動産業・物品賃貸業	学芸・娯楽・情報サービス業	生活関連サービス業・娯楽業	教育・学習支援業	医療・福祉	総合サービス業		サービス業
学部	人文学部	文学	2(2)	7(7)	8(8)	2(2)	14(14)	15(15)	1(1)	2(2)	1(1)	4(4)	11(11)	6(6)	4(4)	18(18)	1(1)
	法学部	法経	3(3)	26(26)	10(10)	3(3)	5(5)	17(17)	35(35)	2(2)	6(6)	2(2)	4(4)	8(8)	3(3)	38(38)	1(1)
	経済学部	経済	0(0)	5(5)	16(16)	3(3)	10(10)	30(30)	50(50)	3(3)	8(8)	6(6)	15(15)	5(5)	7(7)	56(56)	1(1)
	教育学部	教育	1(1)	1(1)	2(2)	1(1)	2(2)	3(3)	2(2)	1(1)	1(1)	105(105)	62(62)	99(99)	3(3)	21(21)	10(10)
	理学部	理学	1(1)	1(1)	3(3)	1(1)	3(3)	1(1)	2(2)	1(1)	1(1)	7(7)	5(5)	7(7)	2(2)	1(1)	1(1)
	工学部	工学	2(2)	3(3)	6(6)	0(0)	6(6)	6(6)	5(5)	1(1)	3(3)	133(133)	72(72)	124(124)	3(3)	21(21)	11(11)
	医学部	医学	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	75(75)	0(0)	6(6)	0(0)
	工学部	機械	2(2)	0(0)	27(27)	3(3)	1(1)	0(0)	6(6)	0(0)	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	1(1)	0(0)
	工学部	電気	4(4)	0(0)	18(18)	0(0)	6(6)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	2(2)
	工学部	情報	12(12)	4(4)	2(2)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	2(2)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	4(4)	0(0)
大学院	工学部	情報	10(10)	0(0)	5(5)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)	0(0)
	工学部	機械	403(403)	19(19)	84(84)	1(1)	20(20)	6(6)	1(1)	0(0)	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	4(4)	13(13)
	工学部	電気	72(72)	36(36)	19(19)	1(1)	1(1)	0(0)	7(7)	6(6)	4(4)	2(2)	0(0)	1(1)	9(9)	5(5)	3(3)
	工学部	情報	99(99)	33(33)	65(65)	26(26)	4(4)	3(3)	2(2)	2(2)	1(1)	4(4)	3(3)	1(1)	2(2)	27(27)	1(1)
	工学部	機械	100(100)	44(44)	14(14)	5(5)	2(2)	1(1)	3(3)	4(4)	1(1)	1(1)	7(7)	5(5)	1(1)	4(4)	11(11)
	工学部	電気	271(271)	113(113)	41(41)	20(20)	7(7)	4(4)	0(0)	16(16)	12(12)	7(7)	4(4)	10(10)	6(6)	15(15)	43(43)
	工学部	情報	271(271)	113(113)	163(163)	52(52)	6(6)	3(3)	51(51)	13(13)	3(3)	54(54)	36(36)	65(65)	41(41)	24(24)	129(129)
	工学部	機械	1392(1392)	564(564)	874(874)	445(445)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	23(23)	156(156)
	工学部	電気	8(8)	6(6)	3(3)	0(0)	1(1)	0(0)	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	情報	16(16)	6(6)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)	2(2)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	2(2)	0(0)
大学院	工学部	機械	39(39)	20(20)	33(33)	15(15)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	24(24)	8(8)	1(1)	2(2)
	工学部	電気	2(2)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	情報	41(41)	21(21)	35(35)	16(16)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	2(2)	1(1)	0(0)	2(2)	1(1)
	工学部	機械	8(8)	2(2)	4(4)	0(0)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(5)	5(5)	8(8)	2(2)
	工学部	電気	13(13)	13(13)	13(13)	0(0)	2(2)	0(0)	2(2)	0(0)	2(2)	0(0)	0(0)	26(26)	2(2)	2(2)	0(0)
	工学部	情報	34(34)	3(3)	31(31)	3(3)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	24(24)	1(1)	1(1)	0(0)
	工学部	機械	55(55)	18(18)	48(48)	16(16)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	8(8)	7(7)	6(6)	10(10)	0(0)
	工学部	電気	55(55)	1(1)	54(54)	1(1)	52(52)	0(0)	5(5)	0(0)	6(6)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	情報	44(44)	3(3)	28(28)	2(2)	3(3)	0(0)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	機械	59(59)	11(11)	56(56)	10(10)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)
大学院	工学部	電気	14(14)	7(7)	13(13)	6(6)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	情報	29(29)	2(2)	28(28)	2(2)	16(16)	2(2)	9(9)	0(0)	3(3)	0(0)	0(0)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)
	工学部	機械	15(15)	1(1)	12(12)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	電気	212(212)	205(205)	199(199)	14(14)	5(5)	1(1)	14(14)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	情報	9(9)	1(1)	6(6)	0(0)	1(1)	0(0)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	機械	6(6)	2(2)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	0(0)
	工学部	電気	15(15)	2(2)	14(14)	0(0)	7(7)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)	1(1)	0(0)	0(0)
	工学部	情報	18(18)	10(10)	13(13)	7(7)	5(5)	2(2)	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	2(2)	1(1)
	工学部	機械	29(29)	7(7)	22(22)	5(5)	3(3)	1(1)	1(1)	1(1)	4(4)	2(2)	1(1)	1(1)	1(1)	2(2)	0(0)
	工学部	電気	43(43)	9(9)	33(33)	9(9)	1(1)	4(4)	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	1(1)	3(3)	2(2)
大学院	工学部	情報	90(90)	28(28)	68(68)	21(21)	0(0)	5(5)	2(2)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	2(2)	7(7)
	工学部	機械	4(4)	2(2)	3(3)	0(0)	4(4)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	1(1)	2(2)	1(1)	3(3)	0(0)
	工学部	電気	5(5)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(2)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	情報	13(13)	4(4)	8(8)	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(4)	1(1)	3(3)	0(0)
	工学部	機械	11(11)	3(3)	11(11)	3(3)	0(0)	2(2)	0(0)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	3(3)	1(1)	0(0)	0(0)
	工学部	電気	11(11)	3(3)	11(11)	3(3)	0(0)	6(6)	3(3)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	工学部	情報	2(2)	1(1)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)
	工学部	機械	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	工学部	電気	2(2)	1(1)	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	工学部	情報	460(460)	109(109)	408(408)	188(188)	6(6)	2(2)	211(211)	5(5)	1(1)	24(24)	3(3)	6(6)	4(4)	0(0)	1(1)

(注)博士課程、博士後課程の修了者については、単位取得満期退学者を含む。()内は、女子学生数(内訳)を示す。

SA(スチューデント・アシスタント)の 取り組みをふりかえって

-他者を支援すること、自分が支援されているということ-

SA(Student Assistant)の取り組みとは、キャリア・ピアサポーター上級資格を取得した学生を活用する学生支援施策である。本学では、仲間が仲間を支援するというこの相互支援の取り組みの本質は、“大学という一つの社会の中で様々な体験をすることは自身のキャリア(生き方)に寄与する”という観点から「キャリア・ピアサポーター」と呼称し、学生個々人のその人らしさを活かした、ピア(仲間)を支援することを推進している。キャリア・ピアサポーターには、初級資格と上級資格が設けられている。学生が支援に関連する様々な知識・技能・態度を高めることのできる講義・演習を一定数受講することで、これらの資格を取得できるという資格教育プログラムが設置されている。

キャリア・ピアサポーター上級資格を取得するまでに、学生は、他者に対する学習支援(ファシリテーション)を実践的に学ぶ講義・演習科目(学習支援実践)や、他者に対する心理的支援を実践的に学ぶ講義・演習科目(こころのサポート)を必修科目として、単位取得しなくてはならない。SAとなる学生の力量を保障するため、他者への配慮や支援方法などについて学ぶことになっている。SAとして、ただの授業準備や配布物の配布補助ではなく、受講生のグループディスカッションへの参加を促すファシリテーションや、受講生の学びをより深めるための支援が望まれている。本学では、教職員ではなく、学生同士、先輩だからこそできる学習支援、学生支援を目指しているのである。

Table 1は、平成26年度SA採用者及びSA活用授業である。SA活用授業の受講生は、ほとんどが学部1年生である。学部1年生にとって、SAである先輩は、自分と同じ学部あるいは他学部の先輩であり、どちらであっても等身大の大学生像としてモデルになる存在である。SAと関わることで、自身の数年後を想像し、目標の姿を考える機会となる。一方、SAである学生にとって、学部1年生と関わることで、数年前の自分の姿をふりかえり、自身の成長を考える機会となる。SAである学生は、SAとして学部1年生を支援することを通して、自分の成長に気づく支援を受けていると考えられる。

しかし、学生による学習支援、学生支援が本当に効果的な制度であるのか、学生同士のどのような関わりがよりよい教育効果をもたらすのかについては、今後もさらなる検討が必要である。そして、SAを活用する教員は、学生同士が相互により学びあえる場をつくるために、教員としてどのような役割を担うべきかを、十分に意識しなくてはならないと考える。

●Table 1 2014年度SA採用数およびSA活用講義一覧

期間	授業名	学部	学年	人数
前 期	キャリアプランニング	人文	4年	1名
	AI-人と組織を生かす発想法-	人文・工	4年・3年	2名
	学習支援実践	人文	3年	1名
	ピアサポート実践	人文	3年	1名
後 期	キャリアプランニング	人文	4年・3年	2名
	AI-人と組織を生かす発想法-	人文	3年・3年	2名
	ピアサポート実践	人文・生資	4年・2年	2名
	学生生活支援実践	工・人文	3年・2年	2名
	留学生支援実践	人文	4年・2年	2名
	広報誌編集実践	人文	3年	1名
	三重大ブランドづくり実践	人文	4年	1名

キャリア・ピアサポーター資格取得ガイド

NEXT STEP 2014

あなたもキャリア・ピアサポーターになってみませんか？

CAREER・PEER SUPPORTER



MIE
UNIVERSITY

学生総合支援センター

資格取得を通して社会人としての「実践力」を身につけよう!



大学までの勉強では知識の獲得が最も重視されますが、実際に社会に出てみれば、

知識量だけでなく、獲得した知識に基づいた実践のための応用力が求められるようになります。

しかしながら、こうした能力を身につけるためには、ただ漫然と授業を受けるだけではなく、

学生時代に様々な取り組みに主体的に参加することで、経験を通して積み重ねていかなければなりません。

三重大学では、「生きる力」の養成や自身のキャリア形成につながる様々な授業科目を用意しています。

また、所定の科目を履修した学生に対しては、「キャリア・ピアサポーター初級資格」、

および「キャリア・ピアサポーター上級資格」を認定します。

「キャリア・ピアサポーター」資格を取得した学生は、授業補助等で教員のサポート役を担う

「SA(Student Assistant)」をはじめ、学生が同じ学生を横の関係で支援する「なんでも相談活動」や、

各種修学(授業)支援、アカデミックフェアやキャリアイベントといった各種イベント企画など、三重大学の活性化にも

つながる様々な活動に参加してもらうことで、その力を発揮することができます。さらには、こうして学内の様々な

現場を「職場」として体験することを通して、就職活動に不可欠な“対人関係能力”や“コミュニケーション能力”といった能力を身につけていくこともできるでしょう。

あなたも、「キャリア・ピアサポーター」資格を取得して、一緒に三重大学を盛り上げていきませんか。

そして、あなた自身の「実践力」を伸ばしていきませんか。



資格をとって、 大学づくりに関わるう!

～仲間と一緒に大学を変える!自分も変わる!～

こんな人は
注目です!



就職活動が不安。
今から始められることって
ないかなあ。



短い大学生活。
もっとキャンパスライフを
楽しみたい!!



資格は興味あるけど
自力で取得するのは
大変そう…。



コミュニケーション
能力を伸ばしたいけど
人と接する機会が
あまりないなあ…。



例えば
こんな業務
やっています

資格を取得することで参加できる! 学内業務の一例

活躍の場が
広がるね!



※業務に参加するに当たって必要な資格要件は、その業務ごとに設定されています。詳しくは、各業務担当者に直接お問合せください。
※業務内容によっては、大学から謝金が支払われるものもあります。

授業補助

キャリア・ピアサポーターがSA (Student Assistant)として『「4つの力」スタートアップセミナー(4SUS)』『キャリア実践科目』『学習支援実践』『PBLセミナー』等のセミナー・実践形式の授業において、教員の指導のもと、受講している学生の補助をすることができます。授業中は教室内を巡回して、教員の指示を理解しきれていない学生をサポートします。

※『学習支援実践』という授業が週に一回あり、キャリア・ピアサポーター同士でSAをしたときの反省点や改善点を話し合います。

各種学生サポート

大学生活についての相談窓口を開設するなどの各種学生支援企画を実施したり、他団体等の学生支援企画の運営をお手伝いしたりします。

※相談窓口開設に当たっては、事前にカウンセラーより相談に関する研修を受けることができます。



他にもこんな業務に関われる
チャンスがあります!

- 学生同士の交流や大学活性化、キャリア支援を目的としたイベントの開催
- 修学支援企画の立案・実施
- 学内の各種学生団体とのコラボレーション

その他、学内さまざまなところで力を発揮できます! 学生の声を聞いて、今何をする必要があるのか、メンバーみんなで考えていきましょう!



資格を取得
してからの
自分の変化

- ★自ら行動する力がつく!
- ★学部・学年を越える仲間と出会い、高めあえる。
- ★より充実した大学生活に!!

申請ってどうするの？

資格認定までの ステップ

申請はとっても簡単！
気軽にチャレンジ
してみよう！



STEP 1

キャリア・ピアサポーター資格申請書および
成績証明書を提出

定められた時期までに、キャリア支援センター(就職支援チーム)に提出します。
提出場所:総合研究棟II 3階ピアサポートルームへ

2014年度における資格申請方法

前期末 申請	申請書締切 7月29日(火) 成績証明書締切 9月10日(水)	後期末 申請	申請書締切 2月3日(火) 成績証明書締切 4月2日(木)
-----------	------------------------------------	-----------	----------------------------------

対象科目は？

資格取得に関わる科目群

実践につながる
科目がいっぱい！



初級資格

授業科目名	単位
初級必修科目	
①「4つの力」スタートアップセミナー	2
②キャリアプランニング	2

※下記「実践科目」から1科目を選択のこと

上級資格

授業科目名	単位
上級必修科目	
①学習支援科目(学習支援実践(I~III))	2
②心的援助科目 (「ここらのサポート」あるいは 「AI-人と組織を生かす発想法-」)	2

※下記「選択科目」から2科目を選択のこと

選択科目

実践科目	単位	実践科目	単位	実践科目	単位
ピアサポート実践	2	学生生活支援実践	2	留学生支援実践	2
大学紹介実践	2	広報誌編集実践	2	障がい学生支援実践	2
三重大ブランドづくり実践	2	男女共同参画実践	2	社会連携実践(I~III)	2
法則探検実践	2	キャリアイベント実践	2	環境ISO実践	2
その他選択科目	単位	その他選択科目	単位	その他選択科目	単位
アントレプレナー論	2	知財学入門	2	地域の仕事を知る	2
キャリアインターンシップI	2	法則探検入門	2	仕事・社会を知る	2
キャリア形成・能力開発	2	三重ブランドの創出	2		

※選択必修科目や選択科目は毎年変更されますが、いずれの年度に修得した単位であっても認められます。

STEP 2

キャリア・ピアサポーター 資格認定委員会による 審査

学生総合支援担当副学長、キャリア支援センター長、キャリア教育担当教員等から成る認定委員会が審査します。

STEP 3

基準を満たす学生に 対して、初級資格、または 上級資格認定証を授与

資格認定者の発表は、前期末申請分については9月下旬、後期末申請分については次年度4月上旬を予定しています。

資格認定基準

- 資格認定要件となる授業において単位を取得していること。
- キャリア・ピアサポート活動に従事するに当たり、十分な意欲と素養を備えていること。

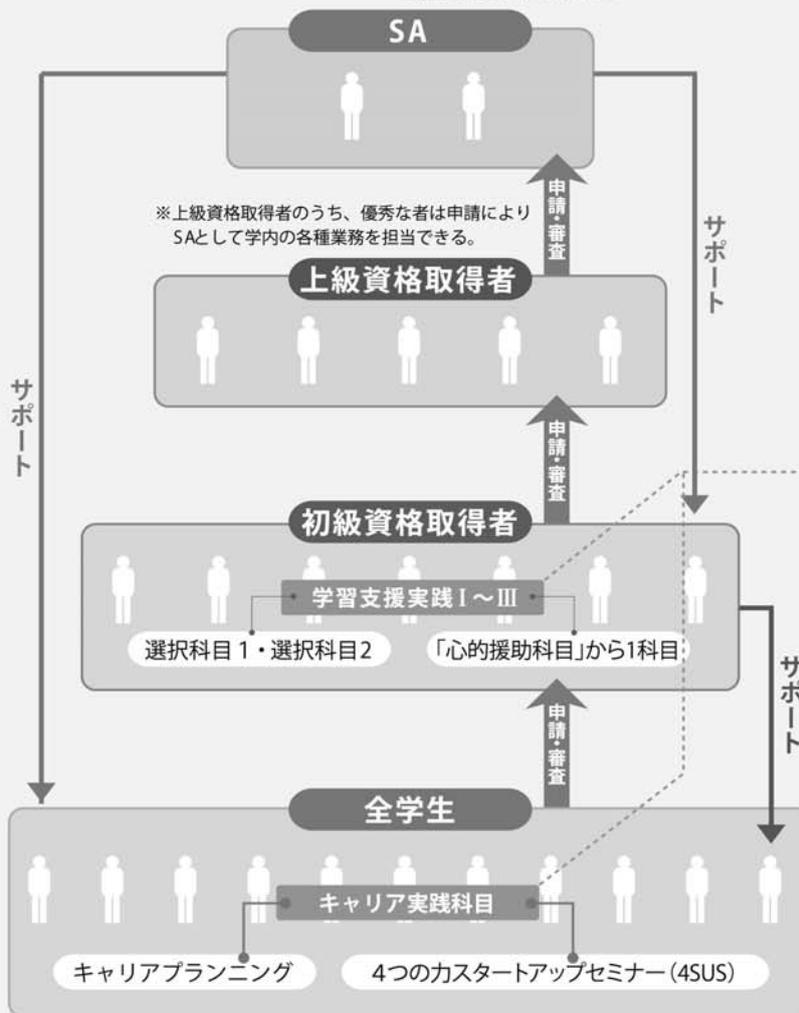
ステップアップの仕組みって？

キャリア・ピアサポーター 資格教育プログラム

キャリアUPで自信をつけよう！



●SA (Student Assistant) … 教員の要請により授業補助等の業務を担う学部学生のこと

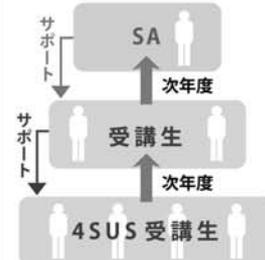


キャリア実践の各科目や「学習支援実践」を受講した学生が、資格取得により次年度にはSAとして、受講生のサポートに入ることができます。

キャリア実践科目



例) 学習支援実践Ⅰ





三重大学学生総合支援センターホームページ
<http://www.mie-u.ac.jp/life/>

発行／平成26年8月
国立大学法人 三重大学

問い合わせ先／学生総合支援センター
〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL:059-231-9679

三重大学life

click